

国王尚元の、皇帝即位の慶賀のため王舅翁寿祥等を遣わす符  
文（一五六八、二、二三）

琉球国中山王尚元、慶賀等の事の為にす。

恭んで皇上の宝位に嗣登するを聞く。盛事に忤逢して合行に進  
賀すべし。今、特に王舅翁寿祥を遣わし、正議大夫梁炫等と共に  
表文一通を齎捧せしむ。本国の小船一隻に坐駕し、全光金鞘金起  
沙魚皮紋靶腰刀二把・金結束酒金竜紋鞘金起沙魚皮紋靶腰刀二  
把・金結束黒漆鞘沙魚皮靶腰刀二把・鍍金銅結束紅漆鞘沙魚皮靶  
腰刀二十把・鍍金銅結束紅漆鞘鞍刀二十把・金酒海一個重さ八  
十兩・銀酒海一個重さ五十七兩・蘇木八百斤を装載して京に赴き  
御前に進賀し、其の細嫩漂白土夏布二十四匹・細嫩生土夏布二十四  
金粉匣一对共に重さ八兩・銀粉匣一对共に重さ一十兩・泥金銀扇  
七十把・束香一百斤・蘇木六百斤は中宮殿下に進賀す。仍お礼部  
に赴き告稟して進取せしむる外、茲の諭遣を承くれれば、途に在り  
て遲滞して便ならざるを得しむる母れ。所有の符文は須らく出給  
に至るべき者なり。

今開す 赴京の

王舅一員 翁寿祥 人伴一十名

正議大夫一員 梁炫 人伴一十名

使者一員 馬慶

都通事一員 梁燦

人伴八名

存留在船使者二員 衛徳 麻加寧 人伴四名

存留在船通事一員 林世昌 人伴二名

国王附搭の蘇木二千斤

隆慶二年（一五六八）二月二十三日

右の符文は正議大夫梁炫・都通事梁燦等に付し、此れに准  
ぜしむ

符文

注\*『明実録』隆慶二年十一月癸酉の条に關連の記事がある。

## 1-26-02

国王尚元の、進香のため使者宗善等を遣わす符文

（一五六八、二、二三）

琉球国中山王尚元、進香の事の為にす。

恭んで大行皇帝の寶天するを聞き、合行に進香すべし。今、特  
に使者宗善を遣わし、香一炷重さ三十五斤を齎捧し、京に赴き進  
香せしむ。仍お礼部に赴き告稟して進取せしむる外、茲の諭遣を  
承くれれば、途に在りて遲滞して便ならざるを得しむる母れ。所有